

2022年3月7日

SUBARU の 2022 年モデルが IIHS 安全性評価で 6 つの賞を獲得

～2013 年からの累計 TSP+獲得数は単一ブランドとして最多の 61 に～

- クロストレック*1 ハイブリッド、レガシィ、アウトバック、アセントが最高評価のトップセイフティピックプラス (TSP+) を獲得
- インプレッサ (5 ドア)、クロストレックは、トップセイフティピック (TSP) を獲得
- 前面衝突予防評価試験を受けた全てのアイサイト装着車両が最高評価の「Superior」を獲得

SUBARU が米国で販売している 2022 年モデルが、米国 IIHS*2 によって行われた 2022 年安全性評価において、4 つの「トップセイフティピックプラス (TSP+)」と 2 つの「トップセイフティピック (TSP)」の、計 6 つの賞を獲得しました。

2022 トップセイフティピックプラス (TSP+) 獲得車種

- ・クロストレック ハイブリッド: 4 年連続の TSP+ 獲得 *3
- ・レガシィ: 17 年連続の TSP 以上獲得*3
- ・アウトバック: 14 年連続の TSP 以上獲得*3
- ・アセント: 5 年連続の TSP 以上獲得*3

2022 トップセイフティピック (TSP) 獲得車種

- ・インプレッサ (5 ドア) (アイサイトおよび特定のヘッドライト装着車): 15 年連続の TSP 以上獲得*3
- ・クロストレック (アイサイトおよび特定のヘッドライト装着車): 11 年連続の TSP 以上獲得*3

なお、TSP の要件を更に強化した TSP+ が 2013 年に導入されて以降 SUBARU が獲得した TSP+ の累計は 61 となり、単一ブランドとして最多となります。*3*4

IIHS は継続的に評価基準を厳格化することで、より安全なクルマの普及に取り組んでいます。2022 年安全性評価において TSP を獲得するには、6 種類ある耐衝撃性能試験のすべてにおいて「Good」、且つヘッドライト性能試験において「Good」もしくは「Acceptable」を獲得し、さらに対車両および対歩行者の両方で「Superior」もしくは「Advanced」の評価を獲得した前面衝突予防システムが選択可能であることが求められます。加えて、「Good」もしくは「Acceptable」評価を獲得したヘッドライトを標準装備したモデルには、最高評価である TSP+ が与えられます。

*1: 日本名 SUBARU XV

*2: Insurance Institute for Highway Safety (道路安全保険協会)

*3: 適用対象は米国仕様車のみ。Subaru of America と Subaru Canada の調査結果に基づく。

*4: 2022 年 2 月時点



2022 年モデル アウトバック (米国仕様)



2022 トップセイフティピックプラス ロゴ